

風光



せぜ めざせ グリフエス前に季節減克服

今年はず 減らさない取り組みから

08春闘方針の中で、今年確認したのは、まず組合員を減らさない取り組みをしようということでした。



非正規の仲間が働き続けたいのに泣く泣く職場を去っていくことが無いようにと、討議し要求した新瑞福祉やめばえ分会。この職場をやめても、他の福祉・保育職場で組合を続けられるんだよと働きかけた分会も、いりなかやひまわりなど数多くありました。

非正規の仲間を

新しく雇用された正規職員がいないと仲間を増やせないわけではありません。

新しく入ってきた、あるいは今まで一緒に働いていた非正規の職員に、この春闘期に同じ様に声をかけてしっかり拡大をした、第2めいほくやぐみの木くさの実分会などもありました。

グリフエス実行委員の頑張り

拡大に向けては、グリフエス実行委員の頑張りも大変頼もしいものがありました。

4月も後半になり、グリフエスの企画は着々と進んでいるのに、『新規加入組合員』がなかなか例年並みに増えていない状況で迎えた最終実行委員会…。

「このままでは新入組合員の少ない歓迎会になってしまおう!」「何とかしよう!」とグリフエスに対する思いを出し合うことにしました。

組合員歴1〜3年目という実行委員が多いなか、自らも組合員歴1〜3年目という若手執行委員が話し合いを進め、「春闘期の山場としてのグリフエスということをもう一度しっかり押さえて、是非増勢で元気良く新入組合員を迎え入れたい!」としっかり意思統一を図ることができました。

自分達がグリフエスで温かく、元気良く迎えてもらった経験が、その思いの背景にはありました。

その甲斐あって拡大前進

「自分ひとりで拡大なんて、声をかけることは難しいけれど先輩と一緒にやってみよう!」「グリフエスの素晴らしさを語ろう!」そんな率直な意見も出され、頑張りや伝わり、加盟用紙が続々届けられました。

グリフエスが増勢で元気良く迎えられれば、参加する新入組合員も、迎え入れる先輩組合員も、皆が気持ちをもとに「組合っていいな」と実感できる取り組みになることでしょう。

分会の「NEXT」へ!

現在グリフエス参加予定者は170人を数えています。

今年もまた、会場が揺れるような活気あふれるひと時を、皆で一緒に過ごしましょう!

そして、グリフエスが終わっても春闘期の拡大をもつとまわり広げ、あなたの分会の「NEXT」につなげてください。

声をかけられるのを待っている福祉・保育労働者があなたの周りや地域に大勢いるはずですよ!

風の音

以前、知り合いにこんな話を教えてもらいました。

『天国の特別な子ども』天国の特別な子ども会議が開かれました。「次の赤ちゃん誕生の時間です。」

天使たちは天においてになる神様に言いました。

「この子は特別な赤ちゃんでたくさん愛情が必要でしょう。この子の成長はともゆつくりに見るかもしれません。」

もしかして一人前にならないかもしれないかもしれません。もしかしてこの子の思うことはなかなか分かってもらえないかもしれません。

だからこの子は下界で出会う人々に特に気をつけてもらわなければなりません。

この子がどこに生まれるか注意深く選ばなければならぬのです。

この子の生涯が幸せなものとなるようにどうぞ神様この子のために素晴らしい両親を探してあげてください。」

自分の親や家族、保育園に通っている子どもやその親…周りにいるみんなのことを大切に思える私の大好きな話です。

(こめたろう)



4・29高齢職場 訪問レポート

今年の「高齢福祉の職場に働く仲間の全国交流集会」（6/14土・15日）はここ名古屋の労働会館を会場に行われます。そこで開催地元地の高齢福祉の職場で働く人に多数参加してもらおう、そして福祉保育労働者を知ってもらおうと、名古屋市内の特別養護老人ホーム訪問を行いました。題して『高齢施設ローラー作戦！』

当日は、全国の高齢職場役員と東海地本の障害協議会（高齢職場の組合員は残念ながら仕事で参加できず）が中心となって取り組みました。

労働組合の存在を 知らせていこう

障害協議会議長 石川 修

早朝に大阪を発って名古屋にこられた高齢職場の組合役員達と東海地本の人達が5コースにわかれ、市内43ヶ所の特別養護老人ホームをまわりました。

私は中川区・港区を中心に11ヶ所の施設を訪問しました。どの施設でも、福祉の人材確保が難しくなっている現状や職員の健康面でしんどくなってきたという状況などの話を真剣に聞いてくださるのにはちょっと驚きでした。

私の職場の近くでも、次々と老人ホームが建ち「老人ホーム通の」といえるほどなのですが、実際に中に入ることはなかったのいろいろな考えさせられました。障害者の施設と比べ、玄関ホール・ロビーの広さ・ホテル



のような静けさ・スタッフの人の落ち着いた立ち振る舞い：一体建設のための資金はどこから出ているのか：などなど。

老人ホームということ、規模の大きさや業務の分業化、勤務の体制の複雑化など、労働者同士がつながりにくい側面がどうしてもあるだろうだけに、今回の「交流集会」に1人でも多くの参加があるといいなと願わずにいられません。また、労働組合の存在を引き続き知らせていくことが欠かせないと強く思わされた訪問活動でした。



ゆたか福祉支部結成

4月5日（土）に港湾会館において全国福祉保育労働組合に結集する『福祉保育労働ゆたか支部』が26名の加入で結成されました。

当日は中央本部の茂木副委員長をはじめ、東海地本から横井委員長ら6名が参加してくれました。温かなメッセージをいただき、また、全国の仲間から多くのメッセージが寄せられ大変励まされました。

大会では、「結成までの経過」で「職員間に大きな亀裂をつくり、仕事への誇りを持っていた多くの職員が職場を去っていく不幸な時期を経験しました。」「職員同士の不信感や感情的なことはあっても、本当はひとつになって心を通わせたいと願っているという確信を持って統一の準備をしてきました。」という報告の途中で、報告者や参加者が涙ぐむ場面がありました。

“当面の運動” “規約” “予算” が全員一致で決められた後、執行委員が選出されました。これでゆたか福祉会の中では、全国の福祉労働者と連帯する組合としては、ただひとつ「福保労働ゆたか支部」があるだけです。

その組合員として団結して働きやすい、厳しさはあってもやりがいのある、笑い声が絶えない職場を築いていこうと確認しました。

皆さん今まで応援して支えてくださって有難うございました。これからもよろしくお願ひします！

（ゆたか支部
石黒修一）



高齢・保育職場も デイサービスの訪問を

愛知県下や名古屋市内には特別養護老人ホームだ

けでなく、たくさん
のデイサービスがあ
ります。



集会のお誘いのほか、「福祉のなかま4月号」のデイサービス特集号や組合パンフをセッとした訪問ファイル（5/8代表者会議にて配布）を持って、小さい分会は3、大きい分会は5施設の訪問に取り組みます。

日頃あまり接する機会のない高齢施設の職員の方と話すことができれば、きっと今後の組合活動の参考にもなるはず！

全国交流集会のお知らせ

（参加希望者は地本へ連絡を）

☆高齢福祉の職場に働く仲間の全国交流集会

6/14-15（土日）IN 名古屋

集会オープニングは保育職場の仲間と“ストロ”を元気に踊り歓迎します。踊り子さん募集中です。

☆障害福祉職場に働く仲間の全国交流集会

6/14-15（土日）IN 滋賀

☆全国保育部会学習交流集会 6/28-29（土日）IN 長野



08春闘 いきいきと働き続けるために!

けやきの木分会 職場闘争

昨年度は開園1年目で本當に何もかもが手探りの状態で保育に奮闘してきた1年でした。そんなけやきの木分会が、要求として声にあげ、春闘にかかげたのが夕涼み会についてです。夕涼み会は則武保育園からの引継ぎ行事であり、実行委員や運営は職員会で進められてきたため、私たちは当然、園行事であり職務としてとらえてきました。しかし、夕涼み会を終えての職員会では、「親ともに行う行事は運動としてとらえるため、夕涼み会は分会としての行事としてとらえている、時間外手当はつかない」との報告がありました。分会では、「それは

おかしいんじゃないか」と声をだし合い要求としてまとめてきました。



4・29「保育・子育て応援大作戦」で頑張るけやきの木分会のみなさん

この08春闘では、夕涼み会の時間外手当を要求しています。今、団交を重ねながら、要求を勝ち取っていかうとがんばっているところです。そして、職務と運動のとらえ方の見直しや、労働者としての権利についてあらためて考えさせられています。

トヨタ過労死裁判 QC活動は業務

07年11月末、名古屋地裁はトヨタ内野さんの過労死裁判で「QC（創意工夫提案活動）サークル活動」を業務として認めました。多くの日本の労働者は、規定上の職務の他に「望ましい従業員」として遂行される広範な責務が課せられています。この期待される営みは、労働者が自己判断で断ることができないいわゆる「強制された自発性」と呼ばれています。実に日本的な精神構造に漬け込んだ、追及されれば「自発的」といい逃れもできる、サービス残業の温床がここにあります。今回の判決はこれを業務と認めました。

健康サポート 一口情報

この本が読めます！著者が重田博正先生のお話を聞きます！「健康で働き続けるための必要か」。心身の現状を予防するために学習します。6/14(土) 15:30~17:00「高齢者交流会」公開講座です。会場は労働会館本館です。参加費は無料。このチャ

「シリーズ・名物組合員」 あいかわ保育園分会 堀江佳奈子

カニカニ…じゃなくてカナコです



「名物組合員」という原稿がきたので「名物」でも何でもないので書かせてもらいます。子年生まれの年おんなです。中学の時、ほんの少しだけ「飛び込み」という競技をやりました。分会では、「それは

やってみました。(オリンピックの種目にあるのでぜひ見てくださいね!)好きな食べ物はチョコレートです。(夏直前なのにどうしよう…)長所・短所ともに涙もろいこと、言いかえれば泣き虫です。全然泣くようなことでないのに泣いてしまうこのよわっちな精神をなんとか鍛えたいと思っているのですが、なかなかうまくいきません。なのでいい方法があればぜひ教えてくださいたいです。よろしくお願いします。(一)

皆で討議 職務の見直し

私たちが
どうなの?

休憩中のノート書き・まとめや懇談会資料など事務仕事の持ち帰りは日常茶飯事。バザーや夏祭りは「運動」だから勤務外で当たり前?! 「運動」だけでは伝

わりません。本来業務自体も昔より複雑多様化している上にこれでは働き続けられないと、職場を去っていく若い人が多いのは事実です。いい仕事をするために、健康で働き続けるために、少しずつでも職場改善していきたいという思いを出し合い、職務を見直していく討議が必要です。「大変」と思うことを自分の中だけで抱えず、分会で出し合いいお互い共有することで見えてくることあります。学習や討議を大切に、本音が出し合える組合活動をしていきましょう。

4・29「保育・子育て応援大作戦」

公立保育園の廃園・民営化反対・公的保育制度の拡充を求めて！

会場いっぱい4000の人が久屋市民広場に結集！

公民共同の取り組みで
市職労保育園部会・武蔵貴子

好天に恵まれた4月29日、「保育をよくするネットワークなごや」が主催する「なごや保育・子育て応援大作戦」が行われ、会場の久屋市民広場では、たくさんのおそびのコーナーや模擬店、舞台での訴えやリレートークなどで集会の主旨をアピールしました。

私たちは、この集会を準備するにあたって「大きな久屋市民広場で保育だけで集会が成功するだろうか」「経験のない私たちがだけで集会を作ることができだろうか」など様々な不安がありました。しかし国や名古屋の保育をめぐる状況が大きく変えられようとしている今、そのことを市民や保護者に大きくア

会場にあふれんばかりの人・人・人...



ピールすることはとても重要と考えましたし、私たちが積み重ねてきた公民の力をあわせれば「きつとできる！」と、開催することを決意しました。

子育て中の親や子どもがたくさん参加し楽しめる集会にするためには「あそび」と「模擬店」は必要と考え分會や園に要請しました。分會や園でもこの集会の意義をすばやく受けとめ、市職の分會が趣向を凝らしたあそびのコーナーを、民間は大変な参加者のお恩こはん対策の模擬店を出してくれました。

集会準備にあたっては、40人を超える要員会議、当日を含めたくさん参加者を組織することができました。これは、保護者が納得しないまま公立保育園の廃園・民営化が



廃園・民営化反対！の声を上げる親達

強行されようとしている現状の中、「何かしなければ」という皆の思いがひとつになった結果だと思えます。

福保労保協と市職労保育園部会の共同が始まって15年、さらに広範な保育関係者と保育ネットを結成して2年になりました。名古屋には全国にも誇れるこの共同があるからこそ今までさまざまな集会を成功させ、世論にアピールし、保育園と保育制度を守り続けてきました。名古屋が「9月末に今後の保育園のあり方に関わる計画を公表する」と明言している今、よりいっそうの共同が必要になっています。市民や私たちの願う保育・子育て施策の実現めざしこれから一緒にがんばりましょう。

【編集後記】

昨年末、自分の乳房にしこりを見つけた。その時点で「乳ガンか!?」と気が気でなく、すぐに乳腺科を受診。そして「痛い」と聞いてビビり、「まだ若いから」と避けていたマンモグラフィーに遂に思いがけずお世話になることになりました。そこは技師のおばちゃん(失礼)が上手で、会話しながら乳房を餅のように練られ(?)、全然痛くもなくなっという間に撮影終了。なーんだ。その結果を持って問診。超音波をとりながら、先生が「これだけでは分からないので、組織とって調べてみますね」と一言。「はい」と軽く返事したものの、数秒考えて、「ん??組織って??しこりの中にあるわけ、組織とるってどーいうこと

!?」と冷静さを装いながらも、実はパニック。そう、この検査が痛かった。しこりに針を刺して、ブイーンって吸引するんです。大人なのに、涙目で「クウッ」ってなつてしまふくらい痛い!で、一週間後に出た検査結果は「99%陰性でしよう」と。「一応3ヶ月後に大きくなっていないう検査に来てください」と言われ、大安心に年を越しました。で、4月に軽い足取りで検査へ。と、「しこりが大きくなっています。乳ガンの可能性があるの、もう一度組織とって調べてみましょう」との診断。再び「クウッ」を乗り越えた帰り道。「乳ガンかもしれない」という現実へのショックで胸の動機が収まらず、フワフワしながら家路につききました。(続)(C)

ピンクののぼりがたくさんはためいて人目を引きました。↓



↑新瑞福社会は大好評「たません」の売り上げ全額を保育ネットにカンパしました。

